

## ■ 本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 暁の鐘の音に目覚めて、女君は文をしたためたまふ。
- ② あけぼのの空ほのかに白みて、山の端いと美し。
- ③ 冬はつとめてこそをかしけれと、清少納言は記したり。
- ④ 昼つ方になりて、客人あまた参り集ひぬ。
- ⑤ 夕されば、門田の稲葉に秋風ぞ吹く。
- ⑥ 宵のほどより灯ともして、御遊びありけり。
- ⑦ 夜中ばかりに、にはかに雨降り出でぬ。
- ⑧ 子の刻を過ぐるころ、宮中はいよいよ静まりぬ。
- ⑨ 丑の刻まゐりて、人皆寝静まりたり。
- ⑩ 御方の丑寅の隅より、あやしき音聞こゆ。
- ⑪ 睦月の朔日、宮人みな参賀したてまつる。
- ⑫ 師走の空かき曇りて、雪もよひなり。
- ⑬ 上達部・殿上人、こぞりて南殿に候ふ。
- ⑭ かの国の受領、任果てて都へ上りけり。
- ⑮ 女房たち、簾のうちにて物語などしたまふ。
- ⑯ 渡殿を渡りて、君は寝殿へおはしましぬ。
- ⑰ あからさまに立ち出でしまま、年経にけり。
- ⑱ そのわたりゆかりある人と聞きて、なつかしう思ふ。
- ⑳ 空のけしきあやしと見るほどに、夕立つ。

## ■ 設問（全22問）

1. 傍線①「暁」とは、一日のうちおよそ何時ごろ（どのような時間帯）を指すか答えよ。
2. 傍線④「昼つ方」とは、およそいつごろを指すか答えよ。
3. 傍線⑤「夕されば」を現代語訳せよ。
4. 傍線⑥の例文「宵のほどより灯ともして、御遊びありけり。」を、傍線部の意味を踏まえて現代語訳せよ。
5. 傍線⑧「子の刻」とは、現在のおよそ何時ごろか答えよ。
6. 傍線⑨「丑の刻」とは、現在のおよそ何時ごろか答えよ。
7. 傍線⑩「丑寅」とは、どの方角を指すか答えよ。また、その方角は俗に何と呼ばれ、どのような意味で忌まれたか説明せよ。
8. 傍線⑬「上達部」とは、どのような身分の人々を指すか説明せよ。
9. 傍線⑬「殿上人」とは、どのような人々を指すか説明せよ。
10. 傍線⑭「受領」とは、どのような立場の人を指すか説明せよ。

11. 傍線⑮「女房」とは、どのような人々を指すか答えよ。

12. 傍線⑮「簾」とは何か。現代の言葉で答えよ。

13. 傍線⑯「渡殿」と傍線⑯「寝殿」は、それぞれ寝殿造のどのような部分か説明せよ。

渡殿

寝殿

14. 傍線⑰「あからさまに」の意味を答えよ。

15. 傍線⑱「ゆかり」の意味を答えよ。

16. 傍線⑲「ほい」を漢字で書き、その意味を答えよ。

17. 傍線⑳「けしき」の意味を答えよ。ここでの文脈に合う訳を示すこと。

18. 傍線㉑「あけぼの」と傍線㉒「つとめて」は、それぞれ一日のどの時間帯を指すか、簡潔に答えよ。

あけぼの

つとめて

19. 傍線㉓「宵」と傍線㉔「夜中」は、それぞれ夜のうちのどのあたりを指すか答えよ。

宵

夜中

20. 傍線㉕「睦月」と傍線㉖「師走」は、それぞれ何月の異名か、漢数字で答えよ。

睦月

師走

21. 月の異名を、一月（睦月）から順に十二月まですべて答えよ。

22. 方角を表す十二支のうち、東・西・南・北にあたるものをそれぞれ一つずつ答えよ。

東

西

南

北